



ふらっと通信

第60号
記念号

発行:南房総市 富山地域づくり協議会「ふらっと」
企画編集:地域づくり支援員(三橋・原)
〒299-2216 南房総市久枝327番地(南房総市富山地域センター内)
メールアドレス:tomy_furatt@yahoo.co.jp
(TEL 0470-57-3000 FAX 0470-57-3002)



①水辺の生きもの観察会

「ふらっと」では、学校等と地域がつながるきっかけになり、子どもたちが地域の人たちとふれあいの場になる、夏休みのイベントを企画しました。夏休みは、自然とふれあう絶好の機会です。参加費は無料です。友だちや家族と一緒に参加してください。

子どもたち集まれ!
自然とふれあう夏休み企画

日時 8月9日(日) 午前9時30分~11時
(雨天の場合は中止)
場所 吉井農村公園(吉沢)
内容 公園脇の小川に棲む生き物を観察
講師 南房総エコネットの皆さん

③★七夕のお話と夏の星座観察会★



日時 8月16日(日) 午後7時30分~8時30分
場所 観音山(市部)
※雨天の場合は富山公民館多目的ホール
内容 夏の夜空に輝く星を望遠鏡で見てみよう
講師 鈴木富士夫さん(鋸南町在住)

②オオクワガタ観察会



日時 8月16日(日) 午後5時~6時
場所 観音山(市部)
※雨天の場合は富山公民館多目的ホール
内容 オオクワガタの観察(抽選でオオクワガタとカブトムシをプレゼント)
講師 堀込清一さん(市部在住)

富山のことをもっとよく知ろう平成27年7月下・8月上の行事

日	時間	行事名	主な内容	場所	主催
7/30		いきいき体験ツアー	本所防災館・NHKスタジオパーク見学	東京台東区 東京渋谷区	富山地区 子ども会育成会
8/1・2		サマーキャンプ 富山中学校2年生	生活体験・自然体験により仲間づくりをする	清和県民の森	青少年相談員 富山地区
2	16:30	伏姫夏まつり	ブラスバンド・キッズダンスほか	富山公民館 駐車場	伏姫夏まつり 実行委員会
5	19:40	岩井海岸花火大会	幻想的な花火が楽しめる	岩井海岸	観光協会岩井支部



(高崎のびわ畑でびわ狩り体験を楽しむ)

勝山藩主と福聚院の関係を学び びわ狩りを楽しむ

時代の義民、忍足佐内の碑と処刑場所を見学して、村民のために死を覚悟して尽くした忍足佐内の行動に想いを馳せたようでした。その後、岩井に向けて「道の駅おおつりの里」「丹生の堰」を経由して、高崎のびわ狩り体験場所に着き、木に登ったり枝を寄せて実を取り、童心に帰ってびわ狩りを楽しみました。最後に市部の福聚院により、勝山藩主と福聚院の関係を学び、山門にある「房州びわ」の原型になった福聚院びわを作出した富山泰宣師の頌徳碑の説明を聞きました。

富山学里美苑見伝ウォーク15「八束から岩井へ勝山藩ゆかりの場所を巡りびわ狩り体験もします」を、6月17日に、27名が参加して開催しました。

里美苑見伝ウォーク17

岩井地区には、後藤義光やその弟の後藤義信、後藤義久、後藤忠明、さらに岩井出身で忠明の弟子の後藤正明などの作品が数多く残っています。今回は、岩井地区の祭礼を見学し、岩井の祭礼に出る屋台の作品やお寺にある作品を鑑賞します。

「後藤義光生誕200年企画」 岩井の祭礼と 後藤派彫刻を巡ります

期日 平成27年8月22日(土)
雨で祭礼が中止になった場合は中止
募集 30人程度(9人以下の場合
は中止)
集合 集合場所15時出発、二部の勝善寺、
富里(15時50分着、祭礼見学、
夕食・17時発)市部・竹内経由高
崎(18時着、祭礼見学、19時発)
分着、祭礼見学、19時発)久枝民宿
街集合場所19時30分ごろ帰着・解
散
申し込み・問い合わせは
富山地域づくり協議会「ふらっと」
☎57-3000

「伏姫夏まつり」の盆踊りの練習をします

日時 7月29日(水) 午後7時頃から
場所 富山公民館多目的ホール
大勢の皆さんの参加をお願いします。

投稿

老いゆく我、育ちゆくひ孫と
かけっこ勝はどっち?...
二部 朝倉芳枝さん(80歳)から

ある日我が家に、小学校一年生になったひ孫が遊びに来た時のこと、初めての運動会で負けた悔しさを、老いゆく私に挑戦を...
「ひ孫は勝った喜びに満面の笑顔、うれしそうでした」

!!挑戦してみることを、学んだ気がしました!!

◆伏姫と八房のたわ言◆

吉田拓郎の歌に「7月26日未明」という歌があり、その中で好きな歌詞があります。
人は生まれた時にすでに旅をしている。頭の中にそれれ地図をひいて、だれかとの出会いで立ち止まることも、旅人を引き止める鎖はない。
「人生という旅の中で人と出会って苦悩な時期があっても、必ず再出発の機会はやってくる」と、歌詞の意味をよいうに勝手に解釈しています。
最近では過ぎ去った日々をあまり振り返らず、未来に向かって歩いていくことが、若さを保つ秘訣なのではないかと思っています。地域づくり支援員

